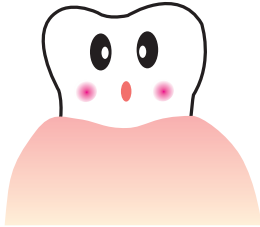




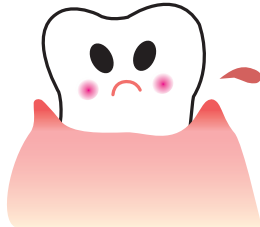
歯の健康づくり

歯を失う原因は「むし歯」と「歯周病」



「歯周病」とは

歯と歯ぐきの間に歯垢(プラーク:細菌のかたまり)がたまることにより、歯ぐきに炎症が起き、進行が進むと歯を支えている骨が溶け、歯が抜けてしまいます。



「歯周病」は若いうちから進行

10代の若者の60%が、歯周病のかかりはじめの歯肉炎になっています。(全国歯科疾患実態調査より) 歯を失うのは、老化が原因ではなく、若いころに発症した歯周病が重症化していくことによるのです。



「歯周病」は生活習慣病

歯周病は、食事や歯みがき、喫煙などの普段の生活習慣に大きく関わっています。

規則正しい生活を送り、全身をより良い健康状態に保つことが歯周病の改善につながります。

毎日のセルフケア(自己管理)と、定期的な歯科健診・歯石除去などのプロフェッショナルケア(専門的ケア)を両立することが大切です。